

第 18 回書道パフォーマンス甲子園の変更点

第 18 回大会からルールの変更がありますので、必ずご確認ください。

変更点 1	<p>応募作品は、これまでの大会本戦や他のコンテスト形式の大会で審査を受けていない未発表の作品に限ります。</p>
内容等	<p>書道パフォーマンス甲子園では、作品の制作過程にこそ参加者の学びや成長があると考え、本大会への応募作品は、他のコンテスト形式の大会で審査を受けていない作品に限ることとしました。</p> <p>応募が認められない作品とは、他の大会で審査を受けた作品はもちろんのこと、その作品をベースとして、大字や背景等の変更、また言葉や音楽の一部だけを変更した作品などで、こうした作品は未発表とは認められません。他の大会で審査を受けた作品をベースに検討しないでください。</p> <p>今回、未発表の作品に限る目的は、書道パフォーマンス甲子園に向けた制作過程を重要視し、制作活動を促すことです。そのため、<u>これまでの作品の中から、書や言葉、パフォーマンス、音楽などを再度使用することなどは全く問題ありません。</u></p> <p>また、文化祭や校外のイベントなどで披露した作品はコンテスト形式による審査を受けないため、未発表の作品として応募することができます。</p> <p>なお、応募作品については、応募申込締切日以降は他の大会で使用することに問題ありません。</p>
罰則	<p>未発表でない作品と判断した場合は、順位点に 16 点加点します。</p>

変更点 2	<p>演技を開始する際、揮毫用紙の上に物品を置くことはできません。</p>
内容等	<p>演技が始まる前に揮毫用紙の上に物品を置くことは、揮毫用紙に印を付けることにつながる可能性があると考え、演技開始時に揮毫用紙の上に物品を置くことを禁止します。</p> <p>「お願いします」と開始の合図を発声する際、揮毫用紙の上には何も物品を置いていない状態としてください。</p> <p>当然ながら、演技開始後は揮毫用紙の上に物品を置くことができます。また、演技開始時に揮毫用紙の上に選手が立つことや、その手に物品を持つことなども問題ありません。</p>
罰則	<p>演技開始時に揮毫用紙の上に物品があった場合は、物品 1 個につき順位点に 1 点加点します。</p>